

# PCのスペック確認

それでは、今までの内容を振り返りつつ、自分のパソコンのスペックを確認してみましょう。

やり方は、自分で調べてみてください。「パソコン スペック 確認」などで調べ方が出てきます。

自分のパソコンのスペックを確認する方法は、様々あります。

また、何かをインストールしてスペックを調べる場合は、事前に何をインストールするか教えてください。

## アンチウィルスソフトウェア

インターネットで配布されているソフトウェアの中には、悪意あるソフトウェアも存在します。

あまり考えずに利用していると、ウィルスに感染したり不要なソフトウェアをインストールされたりする場合がありますため、内容についてきちんと確認をしましょう。

デスクトップ上に右クリックしてプロパティで調べます。

調べる内容：

**OS、CPU、メモリー、ハードディスク(全体容量、空き容量)**

32bit OSと64bit OSの違いは、最大搭載可能メモリーです。32bit OSは4GBまで、64bit OSでは4GB以上(8GBや16GBなど)のメモリーを増設・使用することができます。

CPUにはブランド名**Intel**

Core i7>Core i5>Core i3>Pentium>Celeron

**AMD**

## メモリー

メモリーの単位は、MBやGBです。1024MBで1GBになります。

## ハードディスク

ハードディスクの容量が多いほど記憶・記録領域が増え、データの読み書き速度も高速になるのが一般的です。

## SSD

SSDはハードディスクのように物理的に回転してデータの読み書きを行っているわけではなくフラッシュ型の記憶デバイスです。容量は40GB～512GBぐらいが主流ですが、データの読み書き速度は、ハードディスクよりかなり高速になることが実証されています。

## グラフィック

グラフィックボードとは、画面出力・動画再生を担うデバイスです。

マザーボードには、オンボードグラフィックやCPU内蔵のグラフィック機能があり、最近のマザーボードにはほとんどがHDMI、DVI、VGAなどの画像出力端子が複数付いています。

3Dゲームなどの再生、動画の編集・エンコードなどではグラフィックボードがあるのとないのでは差がついてきます。

## 解像度・液晶ディスプレイ

画面の解像度は 画面のきめ細かさや作業領域がどれだけ確保できるか？という点に関係してきます。

解像度の高いパソコンほど、画面がきめ細かで綺麗であったり 作業しやすいという傾向があります。

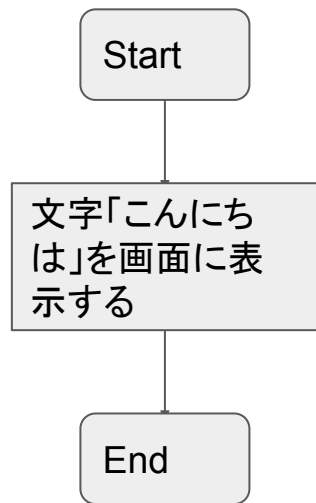
# 文字の表示

ステータス

未提出

以下の処理を実現するフローチャートをGoogleスライドなどで作成し、PDF化してGitHubに提出してください。

実行すると「こんにちは」と画面に表示する処理

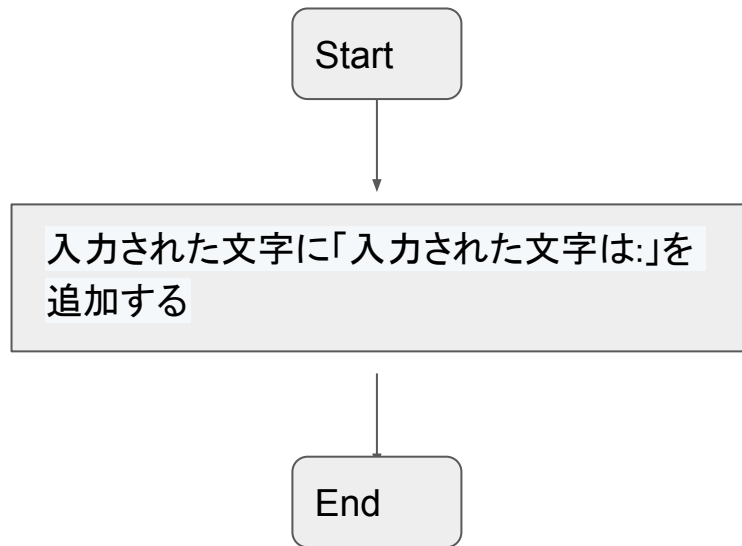


# 文字の追加

ステータス  
未提出

以下の処理を実現するフローチャートをGoogleスライドなどで作成し、PDF化してGitHubに提出してください。

入力された文字に「入力された文字は:」という文字を追加する処理

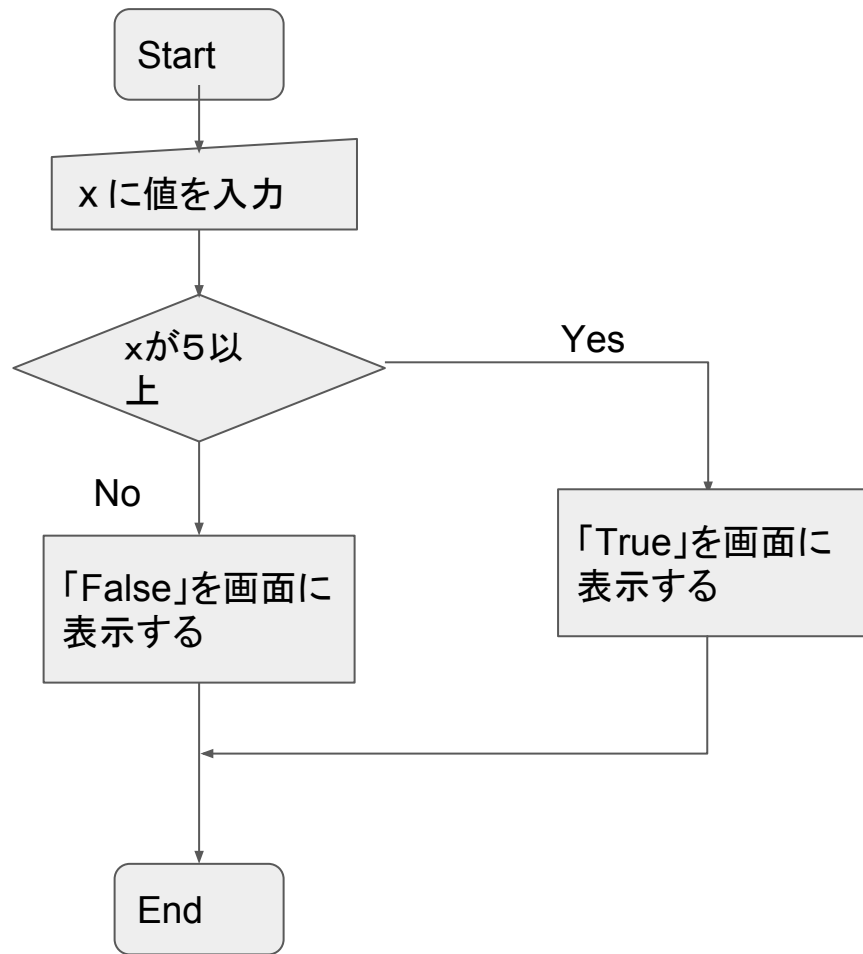


# 条件分岐1

ステータス  
未提出

以下の処理を実現するフローチャートをGoogleスライドなどで作成し、PDF化してGitHubに提出してください。

入力された数字が5以上なら「true」と、そうでないなら「false」と表示する処理

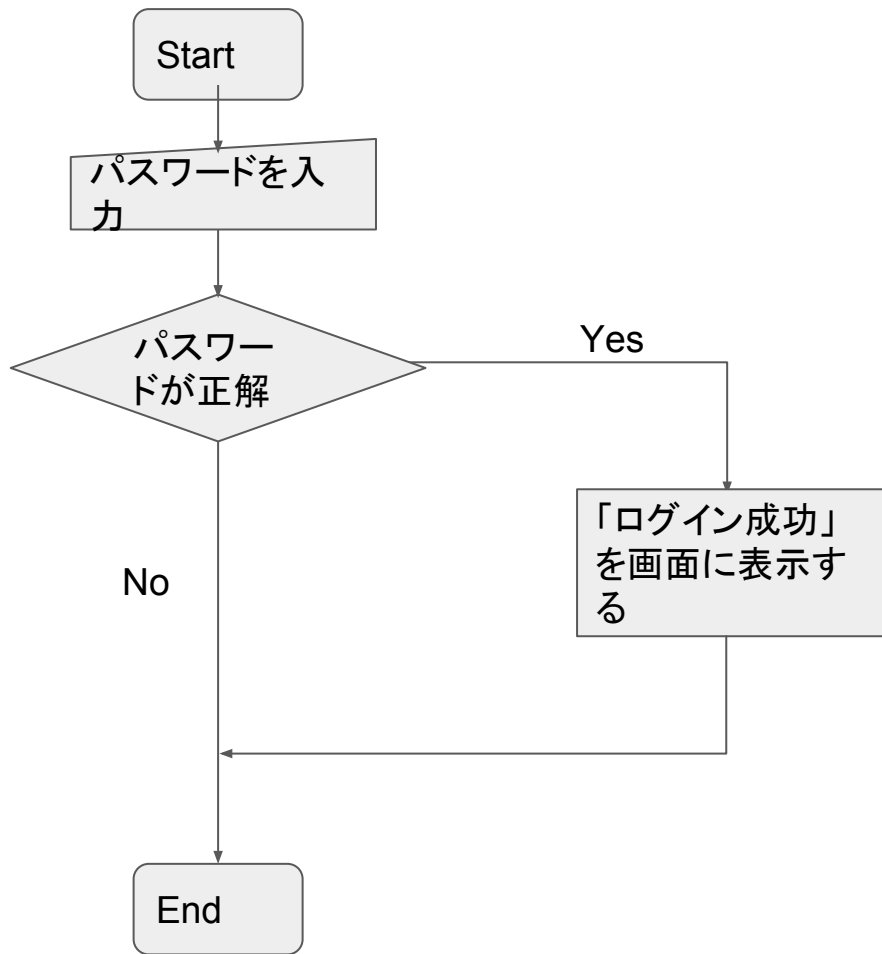


## 条件分岐2

ステータス  
未提出

以下の処理を実現するフローチャートをGoogleスライドなどで作成し、PDF化してGitHubに提出してください。

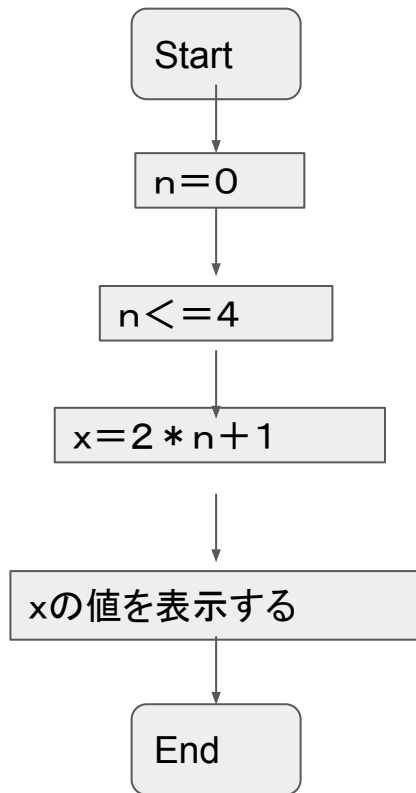
入力されたパスワードが正解なら「ログイン成功」と、そうでないなら何も表示しない処理



## 繰り返し処理1

以下の処理を実現するフローチャートをGoogleスライドなどで作成し、PDF化してGitHubに提出してください。

初期値を1とし、1,3,5,7,9までが表示される処理



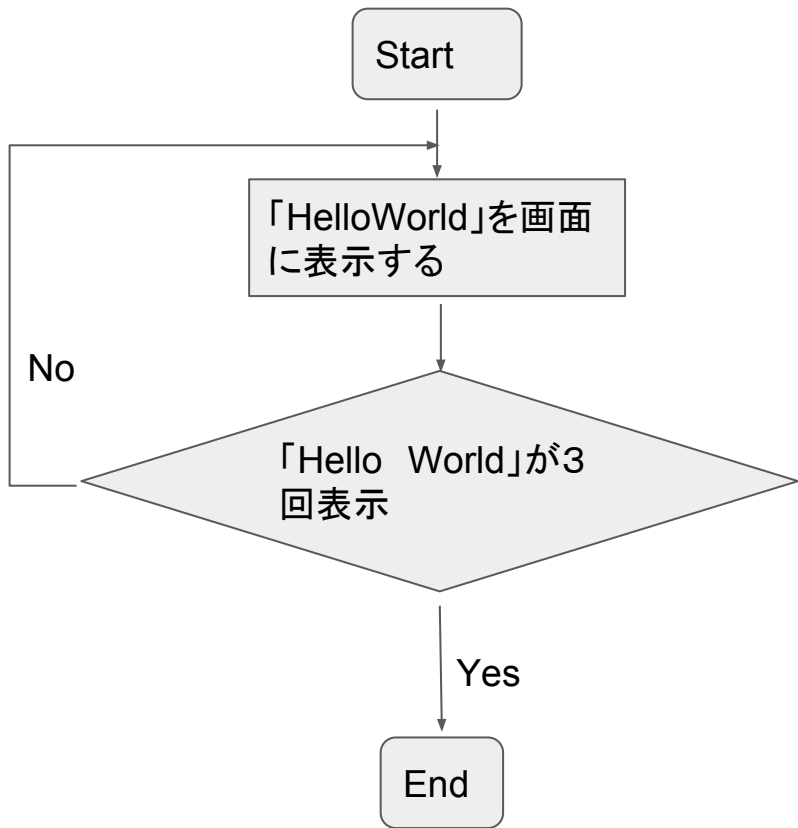
# 繰り返し処理2

ステータス

未提出

以下の処理を実現するフローチャートをGoogleスライドなどで作成し、PDF化してGitHubに提出してください。

「Hello World!」と3回表示させる処理



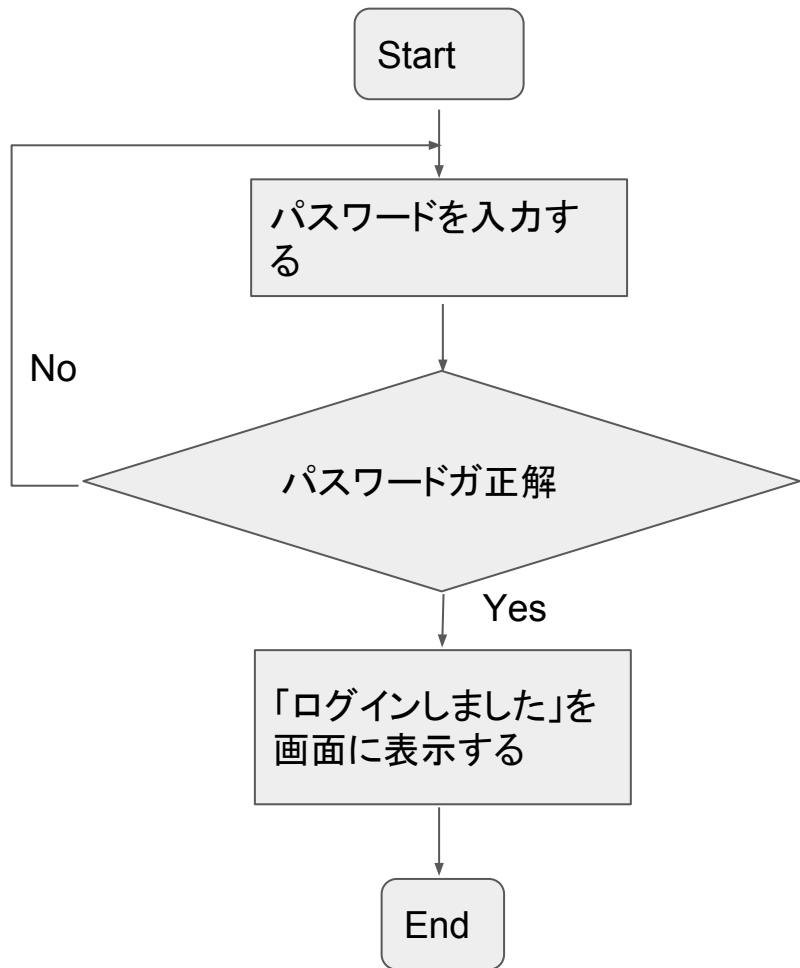


# 条件分岐・繰り返し処理1

ステータス  
未提出

以下の処理を実現するフローチャートをGoogleスライドなどで作成し、PDF化してGitHubに提出してください。

パスワードの入力が正解になるまで入力を求め続ける処理。成功すると「ログインしました」と表示



## 条件分岐3

ステータス

未提出

以下の処理を実現するフローチャートをGoogleスライドなどで作成し、PDF化してGitHubに提出してください。

1. 入力された数字が1以上なら「入力された数字は1以上です」と表示
2. 0なら「入力された数字は0です」と表示
3. 0未満なら「入力された数字は0未満です」と表示



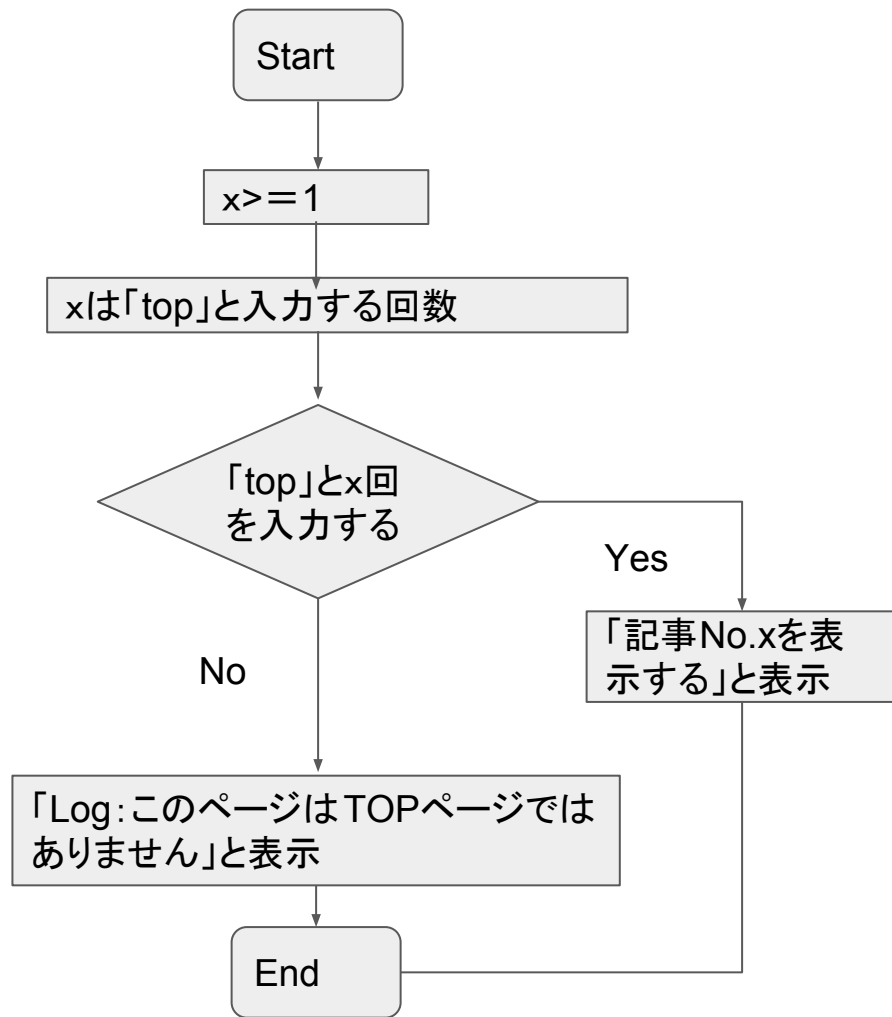
# 条件分岐・繰り返し処理2

ステータス  
未提出

以下の処理を実現するフローチャート Googleスライドなどで作成し、PDF化してGitHubに提出してください。

「top」と入力されたら20回「記事No.xを表示」と表示。xは1から1ずつ増えていく。

そうでないなら「Log:このページはTOPページではありません」と表示。

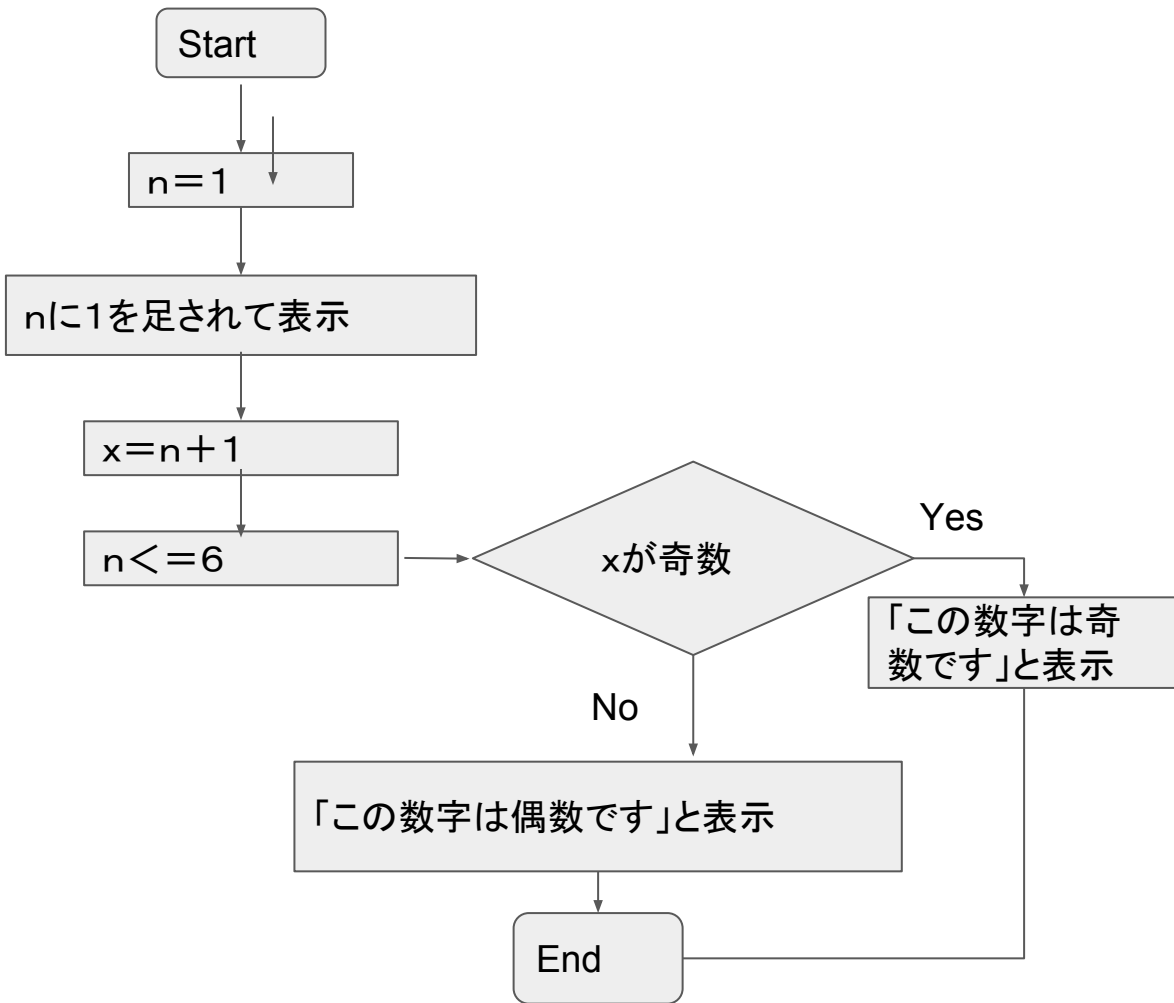


# 条件分岐・繰り返し処理3

ステータス  
未提出

以下の処理を実現するフローチャートをGoogleスライドなどで作成し、PDF化してGitHubに提出してください。

1から始まる数字が1足されてから表示される。これを「7」が表示されるまで繰り返す。また、その数字が偶数なら「この数字は偶数です」奇数なら「この数字は奇数です」と表示される。



# 自動販売機 のシステム

フローチャートで自動販売機  
のシステムを完成させなさい。  
どのような処理を盛り込んで  
完成させるかは自由です。

